

島郷白菜の花芽分化について

豊岡治平・吉武貞敏

福岡県立農業試験場

1. 緒 論

元来、島郷白菜は茨城白菜より改良育成された芝栗系で山東群に属し、3月の蔬菜端境期に専ら出荷されている。しかし、これが栽培において、適確な播種期、収穫期について未だ研究が行われていないようである。

これをするためには収量、品質、市場関係などを考慮に入れることは勿論であるが、播種期と花芽形成期をすることも又その一段階といえる。これについて、1950年8月25日より9月20日まで4回播種を行い、花芽分化期並に収量について、かんたんな実験を行い、その結果をえたので報告する。

2. 実験材料並に試験方法

イ) 供試品種；島郷(能間氏)，京都3号(森田系)，松島純2号。

ロ) 播種期；8月25日，9月5日，15日，25日とし，耕種は福岡縣栽培規準による。

ハ) 花芽分化状態検鏡材料

10月15日から5日毎に，各播種区，各品種5株当たりとし，11月20日まで8回の採集を行った。材料は所定の調査を行った後，75%アルコール中に保存し適宜実験に供した。検鏡方法は剥皮法により，30~40倍の拡大鏡下において花芽分化状態を調査し，その都度，スケッチを行った。

3. 成績並に考察

播種期と花芽分化時期との関係は第1表の如くで，第3回播種までは大体10月30日から11月5日に，第4回播種区は11月5日から10日までにそれぞれ分化期に違っているが，品種別にみると京都3号が少し早い傾向にあり，松島純2号，島郷の順となり大差は認められない。次に花芽分化迄に要する日数，葉数についてみると第2表の如くである。即ち第1回播種区71日，第2回播種区61日，第3回播種区，第4回播種区共に51日となつており播種期の違いほど短くなり，葉数も大体同様の傾向となつているが，第4回播種区は極端な減少を示した。次に結球状態並に収量についてみる

と第2表の如く，第2回播種区迄は緊度，結球率，収量共に優良であるが第3回播種区では若干劣り，第4回播種区では，結球率非常に悪く7~8割が半結球状態であり，著しく品質，収量が劣つた。以上の結果を考察するに，島郷白菜の花芽分化期は，他の2品種に比較してとくに晚いことはなく僅かに晚い傾向がみられるが，これが直ちに晩期出荷に適する原因とは思われない。これは實際栽培地帯の土質，気候が主な原因ではないかと思考される。即ち玄武岩を母岩とした粘質土壌であるため作物が晩生化し抽苔遅くなり，病害，寒害にも強くなると共に温暖であることが原因のように思考せられる。播種期については，9月中旬迄位は種々の被害を受けた場合，再播種を行い経済栽培が成立すると思考せられる。

第1表 播種期と花芽分化時期との関係

播種期	品種名	10月30日	11月5日	11月10日
第1回播種 (8月25日)	京都3号	△ ₄ ○ ₁	○	○
	島郷	△ ₅	△ ₂ ○ ₃	○
	松島純2号	△ ₂ ○ ₃	○	○
第2回播種 (9月5日)	京都3号	△ ₂ ○ ₃	○	○
	島郷	△ ₅	△ ₁ ○ ₄	○
	松島純2号	△ ₄ ○ ₁	△ ₁ ○ ₄	○
第3回播種 (9月15日)	京都3号	△ ₂ ○ ₃	○	○
	島郷	× ₃ △ ₂	△ ₃ ○ ₂	○
	松島純2号	× ₁ △ ₄	△ ₁ ○ ₄	○
第4回播種 (9月20日)	京都3号	×	△ ₁ ○ ₄	○
	島郷	×	△ ₄ ○ ₁	○
	松島純2号	×	△ ₂ ○ ₃	○

〔註〕 ×…未分化，△…分化標徴，○…分化期。

第2表 播種期と分化期迄の日数、葉数並に結球率、緊度、収量との関係

播種期	品 種	花 芽 分 化 期	分化期迄 日 数	分化期迄 葉 数	結 球 率 (%)	緊 度	1 株平均 重 (匁)	収 量 11月20日
第1回播種 (8月25日)	京都3号	11月5日	71	100.6	100	+++	465	1,004
	島 郷	11月5日	71	96.4	100	+++	432	932
	松島純2号	11月5日	71	92.6	100	+++	559	1,207
第2回播種 (9月5日)	京都3号	11月5日	61	97.8	100	+++	820	1,771
	島 郷	11月5日	61	101.1	100	+++	654	1,412
	松島純2号	11月5日	61	95.8	100	+++	648	1,399
第3回播種 (9月15日)	京都3号	11月5日	51	70.6	92	++	320	691
	島 郷	11月5日	51	89.6	95	++	304	657
	松島純2号	11月5日	51	83.6	93	++	300	648
第4回播種 (9月20日)	京都3号	11月10日	51	70.0	30	—	91	197
	島 郷	11月10日	51	75.0	35	+	135	292
	松島純2号	11月10日	51	68.8	30	—	80	173

4. 摘 要

1. 8月25日、9月5日、15日播種区は10月30日から11月5日、9月20日区は11月5日から10日までにそれぞれ分化期に達し、品種間では島郷が僅かに晚い傾向を示した。

2. 分化期迄に要する日数並に葉数は、播種期の早いものほど多く、9月25日播種の島郷において葉数101.0で最高を示し、9月20日播種区では各品種共、急激な減少を示した。分化期迄の日数は8月25日播種区71日、9月5日区61日、9月15日区及び9月20日区

51日であつた。

3. 播種期と結球状態並に収量については、9月5日播種区が京都3号1,771匁、島郷1,412匁、松島純2号1,399匁で夫々最高を示し、9月20日区は著しい減少を示した。結球状態は8月25日、9月5日区は100%、9月15日区、92~93%で、緊度も優良であつたが、9月20日区は品質極端に劣悪となつた。

4. 島郷白菜が晩期出荷に適することは、花芽分化が特に晚いからではなく、玄武岩を母岩とした粘質土壌及び海流の影響により温暖であることが主因ではないかと思つた。